

聞 ・ 聞 ・ 聞

発行責任者 浄土真宗本願寺派 正善寺 住職 酒井光義 平成23年3月3日

〒802-0045 北九州市小倉北区神岳二丁目10番31号 電話093(541)2409番

ただ一言 南無阿弥陀仏 佐藤正信

さる日私は糖尿病悪化のため昭和病院へ入院し、右足の指先切断のため手術台にのった時、色々な悩みをもったが、浄土真宗の教えの基本である、おまかせよりないと決心がつくとともに、「力なくして終わる時、彼の土へはまいるべきなり」という親鸞聖人の言葉が思いうかんだ。そして同時に、中学時代にきいたある布教師の説教が思い出された。それは次のようなものであった。

ある寺院に本願寺の御講師が説教に来寺された。その案内が出されると、その村の人は申すに及ばず、近郷から大勢の参詣人が早朝よりつめかけ、どんなありがたいお説教がいただけるかと御講師のお出ましを待ちかねていた。

定刻になり、型の如く勤行が過ぎ、皆が固唾をのむ内に、御講師は高座に登られ大声で、「皆々様早朝より煩惱に暇をもらって、ようこそ御参詣下さいました。さて阿弥陀様の御本願と申すは、ナムアマダブツと一声となえた者は地獄へは落とさんぞよのお約束ですぞ」と。

そしてこの一言で高座を下りようとなさると、一人の青年が立ち上がり御講師の袖をにぎりしめ、「わかりました」と大声をあげて泣きさけびました。お部屋にお帰りの御講師は、「私は何回も説教を致しましたが、涙と共に領解を聞いたのは初めてです。どうかあの青年をここへ呼んでください』といわれ、これを聞いた住職や総代は驚いた。礼儀知らずの青年のこと、もしも御講師に対し無礼があってはと申し上げても、ぜひに会いたいといわれるので、やむなく青年をつれて来た。

挨拶もせず無造作に座った青年に、「あなたは先ほどわかりましたと言ったが、どうわかったのか教えて下さい」と御講師がたずねると、青年は、

「おら、バカ初という名で皆に呼ばれ、父じゃも兄じゃもいつもひどい目に合わせます。ある日柿の木に登って柿を食べている所へ、父じゃ兄じゃが帰って来て、いきなりおらをさかさ木につり下げ、『お前のために自分らは世間に気がねせねばならぬ』とぶたれました。あまりの痛さに母じゃに助けを求めたが、戸をあけただけで助けてくれなかった。

しばらくして目をあけた時、母じゃが心配そうに、『初や、人間でさえ馬鹿にされたばかりに、父や兄に邪見にされ痛い目にあうが、地獄へ行けばもっと恐ろしい目にあわねばならぬ』といった。おらはどうしたら地獄へ行かずにすむかと母じゃに聞いたら、『どこへでもお説教を聞きに行きなさい』と言われ、どんな所へもかかさず行ったが、どの坊さんの話もむつかしくてさっぱりわからなかったが、今日は唯一言ナムアマダブツととなえた者は地獄へはおとさん、と聞いてわかりました。」

と言いました。

ああ、念仏の心以外に救われる道はない。凡夫の心はあてにはならないと思ったとたん、深い眠りに落ち、幸い手術は無事終了した。

22年忘年会・除夜会トピックス



住職さんかな？ 坊守さんかな？

除夜の鐘が響きます



お似合いの紅白帽子



正善寺の忘年会、食べたり・飲んだり・歌ったり、おまけにゲームで大賑わい！

23年もどうぞよろしく！



頑張りました！小倉組寺院交流会ボーリング大会 団体5位の入賞！

親鸞聖人750回大遠忌法要 小倉組団体参拝 4月より開始
50年に一度のご勝縁 5月も受付終了間近 参加致しましょう

3月8日(火)

10:0より15:00まで
彼岸法要の準備、納骨堂の清掃
等を行います。お手伝いをお願い
致します。昼食用意しています。

総代 小野光馬 様

1月26日ご往生されました。
生前、正善寺興隆に努められま
したこと感謝の念にたえませ
ん。お浄土よりご照覧下さい。



婦人会新年会



かすみ草2月例会
折り紙雛人形

ご 案 内

と き 平成 23年 3月 11日より 13日まで

春 季 彼 岸 法 要

	11日(金)	12日(土)	13日(日)
昼 席	午後 1 時 30 分 得 度 披 露	午後 1 時 30 分	午後 1 時 30 分
夜 席	午後 7 時 30 分	午後 7 時 30 分	

講 師 (下 関 市)

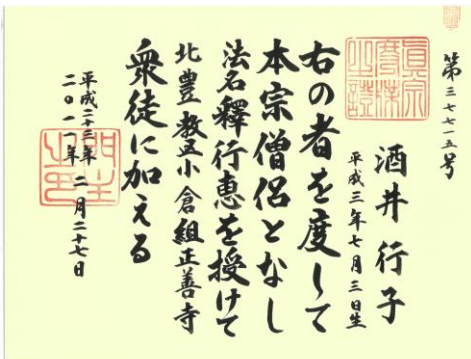
本願寺派布教使 寺 田 教 昭 師

どうぞお誘いあわせのうえお参り下さい。

ご 報 告

本年 2 月、次女一行子が「**得度式**」(本願寺での習礼を受けて僧侶となる儀式)を受け、本願寺派僧侶の一員とさせていただきました。皆様方にご披露いたしたいと存じます。どうぞご参集下さい。

11日 昼 席 法 名 ^{しゃくこうえ} 釈 行 恵 (^{さかいいくこ} 酒 井 行 子) **得 度 披 露**



度 牒



本願寺 阿弥陀堂にて

行事ご案内 [如来大悲の恩徳は 身を粉にしても報ずべし]

4月8日は「お釈迦様の誕生日」みんなで祝いましょう

花まつり・甘茶接待

【日時】4月8日(金)午前11時より午後1時まで【会場】正善寺・神岳保育園玄関前
同日 午後1時より3時頃小倉仏教会主催且過丸和前にて開催 正善寺当番

初参式 (しょさんしき) 正善寺本堂にて

【とき】6月12日(日)午前11時開始

小さいお子様がお寺の仏様の前で初めてのお参りをする儀式です。最近生まれたお子様はぜひ参加しましょう。家族でおいで下さい。お待ちしております。

次回の法要のご案内 永代経法要

【とき】6月11日(土) 昼席・12日(日) 昼席 (昼席2日間)

【講師】 当山 正善寺 住職 酒井光義

編集後記

風に春の香りを少し感じるようになりました。皆様お元気で過ごしてでしょうか、先日神岳保育園では園児による作品展が行われました。その中で四月に一年生になる年長の子も達が、記念製作として仏さまの絵を描いてくれました。小さな頃から仏さまのお話を聞き、仏さまの歌を歌ってきたので、22人の子もたちの描いてくれた22の仏さま、みんな優しく笑っておられる顔でした。子どもたちの心にこんなに優しい仏さまの顔がのこっていて「仏さまと子ども達、遇えてよかったね」と改めて仏教保育をさせていただいていることに感謝しました。

私は今、この編集後記を京都にて書かせて頂いています。次女の行子がこの度、京都西本願寺での得度習礼を受けお坊さんのお仲間入りをさせていただきました。行子が生まれる時、私は周りからのたくさんの声を頂いていたので、男の子を生まないといけないとすごいプレッシャーに押しつぶされそうでした。無事に元気に生まれてきてくれたのは、女の子でした。生まれてすぐに父と母が病院に来てくれました。生まれたての行子を見て、父が「あーこの子はい、お前この子に遇えてよかったなあ」と言いました。お姉ちゃんになった要子も「赤ちゃんに遇えたね、赤ちゃんかわいいね」と言って、そっとさわっていました。

あれから19年、行子自身の人生の中に、浄土真宗のお坊さんになることを決意し、一步を歩み始めてくれたことを今、心から嬉しく思います。得度を終え、本願寺の阿弥陀様にお参りさせて頂きました。「お父さんお母さん、得度をうけさせてくれてありがとう」と……。改めて父の「この子に遇えてよかったなあ」と言ってくれた言葉をかみしめています。ご門徒の皆様、どうぞこれからもご指導のほどよろしくお願ひいたします。春のお彼岸、園児の描いたあたたかい仏さまの絵と春のたくさんのお花の中で勤めさせていただきます。行子の得度披露もさせていただきます。どうぞお参り下さいませ。

合掌